



きちんと知りたい、わが家の電気。

どんなものに使われているの？



省エネは、電気のことをよく知ることから始まります。

ご家庭の電気がどんなものに使われているのか、ご紹介します。



ゲーム機に、ケータイ、
暮らしにかかるせない
いろいろな家電製品は
この頃に生まれたのか

便利で快適な暮らしはありがたいことですが、やはり省エネを心かけたいものですよね。

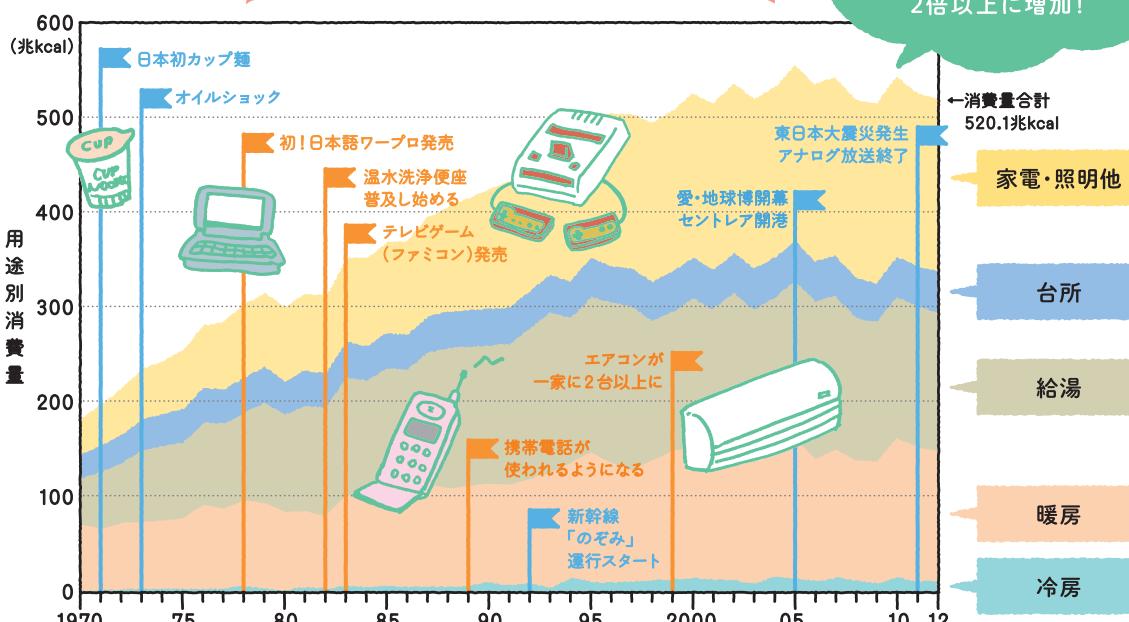
新しい家電製品が登場し普及が進むたびに、私たちの暮らしは便利で快適になってきましたが、それにつれて年々、電気の消費量も増加し、40年前と比べると今や倍以上に。

下のグラフが示すように、ご家庭では、さまざまなものに電気が使われています。

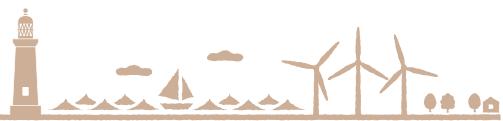
A 便利になるにつれ
暮らしが
どんどん
電気を使っている！

Q 暮らしにかかるせない
電気だけ、
使う量って
増えているの？

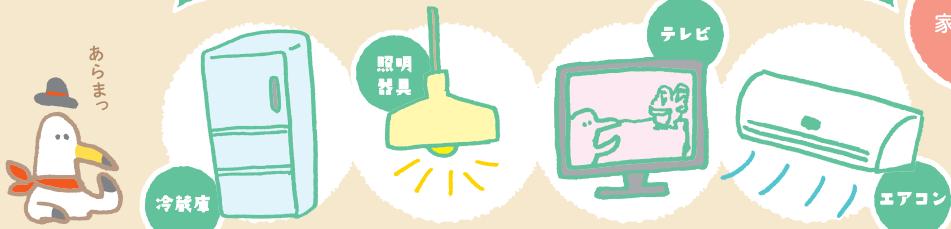
40年前と比べると、
家庭での電気消費量は
2倍以上に増加！



福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



家庭で電気を使う家電製品の四天王はコレ!



4つの家電製品を上手に使って、かしこく省エネしよう!

家電製品の中でも電気を多く使うのが、冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコン。この4つで4割以上の電気が使われています。ということは、これらを上手に使えば効率よく省エネができる、ということになりますね。

例えば
テレビの場合



買い替えや使い方で
かなりの省エネ効果が。

32V型テレビの場合、技術の進化により数年間で約6割も省エネに。買い替えをご検討の方は、消費電力量を確認してみてください。また、省エネモードの利用や画面の掃除だけでも節電になります。

【32V型テレビ新旧比較】



年間消費電力量、
約63%の削減!



出所：経済産業省 総合エネルギー調査会 省エネルギー基準部会(第17回)資料「トップランナー基準の現状等について」(平成23年12月26日) ※資源エネルギー庁平成21年度民生部門エネルギー消費実態調査(有効回答10,040件)および機器の使用に関する補足調査(1,448件)より日本エネルギー経済研究所が試算

ミラエネQuiz

Q 約10年間で、
冷蔵庫の年間消費電力量は
どのくらい減った?

- A 10% B 45% C 65%



予言的中! 21世紀はどんなことができるようにな?

昔に比べて私たちの暮らしはどんどん便利になりましたね。1901年の正月、報知新聞に掲載された「二十世紀の予言」という記事には、次のような「電気にに関する項目」があります。

①「電気の世界」薪炭・石炭共に尽き、電気が燃料に変わる。

②「電気の輸送」日本は琵琶湖の水を用い、水力で電気を起こして全国に輸送することとなる。

他にも、エアコンの誕生や携帯電話の登場など数多くの予言が実現しています。私たちが生きる21世紀は、この先どんなことができる世の中になっていくのでしょうか。



ミラエネクイズの 2012年度の401～450Lの冷蔵庫を約10年前の製品と比較すると、技術の進歩により年間消費電力量は約65%の省エネとなっています。
※このデータは特定の冷蔵庫の消費電力量を示したものではありません。各年度毎に定格内容積401～450Lの冷蔵庫の年間消費電力量を推定した目安であり、幅をもたせて表示しています。

答え:C

出典:一般社団法人 日本電機工業会